

ネットワーク事業

◆世界平和を祈るつどい

12月13日正午から、金光教非戦・平和ネットとの共催で、金光教本部修徳殿を会場に「金光教世界平和を祈るつどい」を開催しました。

今回は、「世界平和は神人の願い 戦後70年 今こそ戦争放棄・非戦の誓いを！」をテーマに、世界中の戦争や紛争、テロで亡くなったみたま様方へ黙祷を捧げた後、代表者4名が「祈りのともしび」を奉納し、各地の平和祈願詞を全員で奉唱した。その後、「平和アピール」を金光教岩代郡山教会長の橋長孝三郎先生がされ、最後は金光混声合唱団とともに「空より高く」を斉唱しました。



世界平和を祈るつどい

◆フィリピン SRD

コンコウキョウセンターでの 虫歯予防プロジェクト 第4弾

DNOW（歯科ネットワーク岡山から世界へ・理事長・中條新次郎氏）は、2016年1月21日～24日、マニラのSRDコンコウキョウセンターの幼児約100人を対象に無料の歯科クリニックを開催しました。

まず、初日は幼児約100人の検診したのち、フッ素・サホライド塗布を行い、午後からはメンバー9人が2班に分かれ、コミュニティツアーを現地スタッフ同行のもと、施設の子どもの家庭を訪問し、調査票に基づいた質問を行いました。主に生育環境と口腔内状態への意識を聞かせてもらいました。

—DNOWからの報告—

「ボランティアには、大きく分けて、緊急支援ボランティアと環境支援ボランティアの2つがあり、我々の行っているボランティアは、どちらかと言うと後者に近いものです。痛みのある歯を抜くことは緊急支援ボランティアですが、その時には感謝されてもその支援の効果が広がることはなく、ただ、歯を抜くだけでは大きな変化を期待することは出来ないのです。毎年数十本の歯を抜き続けても、毎年数



検診



治療中

百本の虫歯ができては、ゴールは全く見えてきません。

その一方、環境支援ボランティアには、活動を終えてもその効果が無限に広がっていく可能性があります。我々の歯科ボランティアでも、歯磨きの大切さやフッ素使用の効果について、紙芝居を使って伝え、歯磨きの練習も行いました。一人の子どもが、歯磨きの大切さを学び、そのことを家に持って帰って家族に伝え、成長して自分の子どもにも伝えてくれるなら、我々の活動の効果は時代を超えて無限に広がっていきます。

しかし、フィリピンの社会的背景には、歯科医療にとって厳しい内容が2つあります。1つ目は、歯科治療はとても痛いもので、一般の人にとって歯科医院はもっとも行きたくない所であること。そして2つ目は、カロリー補給、栄養補給のためと称して、子ども達の周りに、甘い物が大量に溢れかえっていることです。

私たちの道のりは、長く険しいですが、緊急支援と環境支援をバランスよく行いながら、少しずつでも前に進むことを、地道に続けていきたいと思っています」。

—今回初参加の衛生士の方の感想—

「子ども達は目がキラキラしていて、人懐っこい感じで、言葉がうまく通じないのにもかかわらず、いっぱい笑顔を見せてくれました。しかし、お口の中には虫歯がたくさんあり、驚きました。検診・治療を怖がる子ども達の涙を、日本であれば声をかけたりするのですが、今回は英語も通じず、恐怖心を緩めてあげられなかったことは次回への反省点となっています。



ヘルスプロモーション集合写真

今回出会った子ども達が、自分の健康に意識を持ち、健康を守っていくことができるように…きっと素敵な未来が待っているように…と願っています」と、報告がありました。

◆東日本大震災慰霊祭

KPACが参加する岡山県の宗教者ら有志による「人道援助宗教NGOネットワーク（RNN）」は2016年3月11日、岡山市北区の黒住教本部・神道山日拜所でRNN東日本大震災5回忌慰霊祭を仕えました。2時46分の黙祷後、天台宗・金光教・立正佼正会・真言宗・黒住教の参加各教団が順に、それぞれ10分程度で慰霊と復興祈願を行いました。KPACからは、竹部理事長・杉本専務理事が参加しました。



RNN東日本大震災慰霊祭